

メッセージ

間もなく本県も人口減少の局面に入ると予想されています。そして、団塊の世代が75歳以上となる2025年には、高齢者の増加による医療、介護需要の大幅な伸びと生産年齢人口の減少による社会活力の低下が懸念されています。

こうした中、地域の様々な課題を解決していくためにはNPOや自治会などによる地域の絆を生かした共助の取組が欠かせません。その共助の担い手に、専門家ボランティアや活動資金を紹介し、それぞれの強みを引き出して地域の課題の解決と活性化につなげるコーディネーターとして活躍しているのが「共助仕掛人」です。「共助仕掛人」は、より良い共助社会をつくりたいと願う様々な人々や団体の想いを受け止め、つなぎ、その実現をお手伝いしています。また、助っ人として活躍している専門家ボランティアも志は一緒です。県では、仕事などで培った経験やスキルを社会に役立てたいとお考えの方に、専門家ボランティアへの登録を呼びかけています。地域活動を始めるきっかけをつかみたい、持っているスキルで地域に貢献したい、そういう方々の第一歩を踏み出す一助として、この資料を御活用ください。皆様の中から明日の地域活動を支える共助の担い手、共助仕掛人、専門家ボランティアが次々と現れることを心から願っております。

埼玉県知事 上田 清司



共助仕掛人 とは？

NPOや自治会などと専門家ボランティア
や活動資金をつなぐコーディネーター

仕掛 1

人材をマッチング

NPOなどの悩みビッグ2の一つが、後継者をはじめとする人材不足。

その活動に必要な人材を探して紹介しています。

経験やスキルを生かして地域の課題解決に役立てたい「専門家ボランティア」を発掘して県全体のリストを作成。適した人材を紹介します。



共助仕掛人は、県とモデル3市
から活動を広げてきました。

■実績（平成26年～28年9月）

マッチング件数 **1242**件

■専門家ボランティア登録数

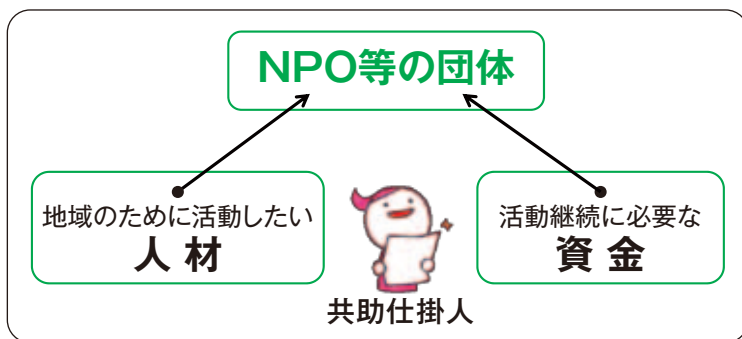
団体：**91** 個人：**253**

仕掛 2

資金をマッチング

NPOなどのもう一つの大きな悩みが、活動継続のための資金不足。

共助仕掛人は、県や市などの助成金、クラウドファンディング、融資を紹介しています。



仕掛 3

機会をマッチング

NPOなど団体へのアドバイスです。運営や活動内容をよく聞いて今後の活動について一緒に考えたり、見つけた情報を地域内外に発信して新たな展開や波及を進めたり。NPOなど団体に、「機会」を提供しています。

県と熊谷・川口・和光の3市から県内へ 「共助の取組マッチング事業」

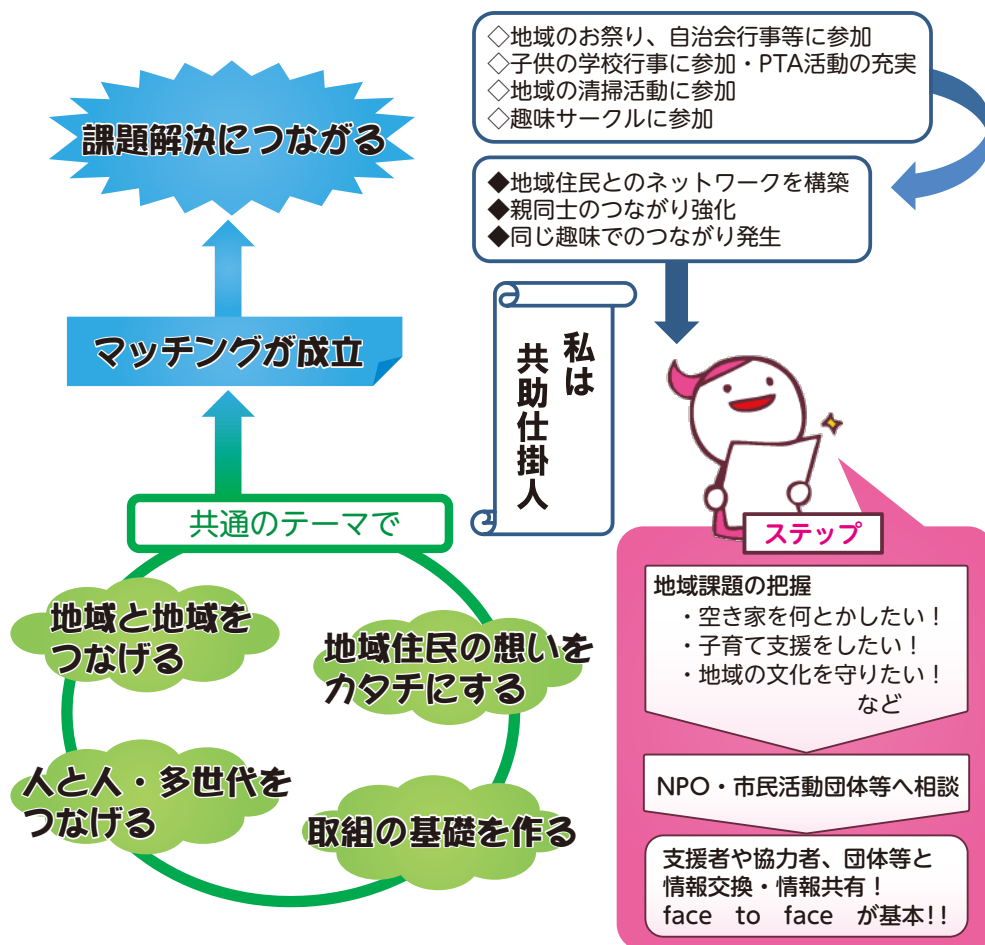
共助活動が地域を変える！

「日本一の共助県」を目指す埼玉県が、熊谷・川口・和光のモデル3市と平成26年度から進めてきた「共助の取組マッチング事業」。県内の他地域にも、事業への参加が広がってきています！



全国知事会主催の第8回先進政策創造会議で優秀政策として表彰されました。

共助仕掛人として活躍するには？ 地域課題をマッチングで解決するには？



「得意な分野」で お手伝いをしませんか？ ＜専門家ボランティア＞

得意分野を役立て地域の課題解決に取り組む方々が「専門家ボランティア」として活躍しています。

あなたの経験やスキルを生かして「ちょっとお手伝い」感覚で地域デビュー、地域貢献してみませんか？

個人

川口市

田中 良一さん

専門家ボランティアを始めました！



- ◆ ICT支援
- ◆ パソコンメンテナンス
- ◆ ホームページ制作
- ◆ 経営支援

メール tanaka@it-salon.net

私たちと一緒に
共助活動しませんか？

団体

行田市

(特非)ぎょうだ足袋蔵ネットワーク

- ◆ 牧禎舎
アーティスト
シェア工房、
藍染工房運営
- ◆ 足袋とくらしの博物館
地域文化の発信
- ◆ まちづくりミュージアム
近代化遺産を活用したまちづくり広報活動



HP <http://www.tabigura.net/>

登録に関するお問い合わせ
埼玉県共助社会づくり課

※詳しくは裏表紙を御覧ください。